

創刊号

# 鶴甲会館リニューアル通信

発行日/平成27年8月13日

発行/神戸市みなと総局

意見取りまとめ・発行協力/森崎建築設計事務所

## ファシリテーターからのコメント

ワークショップのファシリテーターをさせて頂き、まず感じましたのは、鶴甲という「地」にお住まいの方は、ほんとうにこの地がすきなんだなぁと思いました。

どのテーマの意見交換も熱心で、今の現状の把握・活動・将来のまちのビジョンなどの捉え方などバランスのとれた意見をお聞き出来ました。

これから続く次回以降のワークショップが楽しみです。「鶴甲会館」がこの街のコミュニティを育む装置になればと祈ってやみません。

森崎輝行

## 参加されたみなさんの感想など

- まだ若者な方なので少し意見を言い辛かったが有意義な会だった。
- 教室の生徒さんのためにも会館がなくならないように。
- 出来るだけ色々な立場の人を集めて開催を。
- 地域の方々の貴重な意見を聞くことができた。
- もっと大学と地域の人が関わり合いながら地域を良くしていきたい。
- 皆が話す時間が足らなかった。もう少し少人数の方が良かった。
- 団地全体の話しは大きすぎた。
- 1回目はこんなものかな。
- 団地の課題や将来について、過去に調査済みのデータがあるはず。
- 全てルールが決まっていて、審議をこなすだけの会にならないように。
- 大学生の参加が良かった。
- 実りのある成果を。
- 地域の方々が持っているまちへの思いが良く伝わった。

## 次回以降のワークショップのご案内

次回の第2回ワークショップは、

日時：**平成27年8月16日(日) 10:00～12:00**

テーマ：**「鶴甲会館のこれまでをみつめる」** 会場：**「鶴甲会館2階 201号室」**

で開催を予定しています。

また、以降のワークショップの予定は次のようになっています。

第3回：平成27年8月29日(土)

第4回：平成27年9月 5日(土) ※時間、会場はいずれも第2回と同様です。

第5回：平成27年9月27日(日)

## ワークショップへの参加について

ワークショップへの参加をご希望される方は、事務局(下記お問い合わせ先)まで事前にご連絡ください。

参加希望者が多数の場合、会場の都合上、先着順とさせていただきますので、ご容赦ください。

**「鶴甲会館アンケート」へのご協力をお願いします。(8月16日締切)**

**お問い合わせ先(事務局)**

**神戸市みなと総局経営企画部分譲推進課管理係【鶴甲ワークショップ担当】**

**TEL:078-322-5704/FAX:078-322-6136**

## 「鶴甲会館ワークショップ」がスタートしました！

鶴甲会館を今後のまちの活性化につながる、コミュニティ活動の拠点としていくため、団地に関わる様々な立場の方に集まっていただき、鶴甲会館の将来像について話し合ってください。「鶴甲会館ワークショップ」を7月から9月にかけて開催します。

このワークショップの第1回が、平成27年7月20日(月・祝)に、鶴甲会館にてスタートしました。

当日は、連合自治会やふれあいのまちづくり協議会などの住民の方、神戸大学の学生、六甲鶴寿園、会館で教室を主催されている方など33名(男性：19名/女性：14名)の方にご参加いただきました。建築家の森崎輝行先生をファシリテーターとしてお招きし、アドバイスを受けながら話し合いました。また、OMこうべ、神戸住まいまちづくり公社、灘区まちづくり課にもオブザーバーとしてご参加いただきました。

第1回は、「**まちを見直す**」というテーマで、3つのグループに分かれ、まち全体のことについて話し合われました。会場は和やかな雰囲気、みなさんに活発に団地に対する熱い思い・意見を交わしていただくことができました。

### 第1回プログラム

- 1.趣旨説明
- 2.ワークショップの進め方
- 3.グループ討議
- 4.各グループによる発表
- 5.ワークショップのまとめ



ワークショップ風景

## 鶴甲をさらに元気にする、コミュニティ拠点としていくために

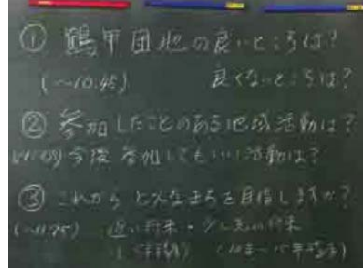
鶴甲会館は昭和44年の開設以来、地域のコミュニティ施設として、皆さまに親しまれてきましたが、時代の流れとともに、現在は施設の老朽化や耐震上の問題に加え、その管理運営のあり方などについて課題を抱えています。

このワークショップでは、これらの課題を解決しながら、まちの活性化につながるコミュニティ活動の拠点としていくために、地域のニーズに応じた新たな機能の導入や、地域が主体的に関われる施設の管理運営の仕組みなどについて、参加される皆さま自身が、ご意見やアイデアなどを自由に出し合い、話し合ってください。

神戸市では、ここで話し合われた内容などを参考にしながら、再整備の基本計画をまとめていきます。

# コミュニティ拠点についての ワークショップが始まりました。

ワークショップは、33名の参加者が3グループに分かれた各テーブルを囲み、ファシリテーターからの3課題に対して意見を交換するという進行で行われました。以下に、3つのグループの意見をご紹介します。



## 意見交換1 鶴甲の良い ところは?

- グループ1：景色が良く自然が豊か・子育てに適している・学生との交流がある・交通量が少なく安全・子供の見守り・バランスの良い年代構成・静かだが子供が元気
- グループ2：交通の便・自然が豊か
- グループ3：環境が良い・治安が良い・交通の便が良い・子供見守り・地域の人々のゆるやかなつながり

いずれのグループも環境の良さと交通の利便性の良さ、特に、地区内のコミュニティの良さを強調した意見が多く発表された。

## 意見交換1 良くない ところは?

- グループ1：終バスが早い・団地内での交通が不便・坂が多い・トラックの排気ガスや騒音
- グループ2：買物が不便・団地の構造
- グループ3：医療機関が少ない・ホームドクターがない・高齢化・自治会活動の機能低下・若い人の参加が少ない。

高齢化による不安と建物に対する性能（エレベーター・断熱性がないなど）への不満などいずれも「暮らし」に対する諸課題が浮き彫りにされた。



グループ1の皆さん



グループ2の皆さん

## 意見交換2 地域活動に 参加した?

- グループ1：そうじ(道路/バス停/会館プール)・夏祭り・ふれまち 神戸大の子供会・小学校開放運動・消防訓練
- グループ2：防災の活動・鶴甲祭り・ふれあい夏まつり
- グループ3：ふれまち活動・パークフェスティバル・夏祭り・ラジオ体操・清掃活動・防犯パトロール・自治会活動・地域掲示板の管理・児童の登校見守り・防災福祉コミュニティ・放水訓練

地域活動を重視している発表が多く出された。

## 意見交換2 今後、参加 してもいい のは?

- グループ1：継続することが難しい・30,40代の後継の方が少ない  
ふれまちは若い世代も参加してくれるが、掃除や祭りは主体的に参加してくれない
- グループ2：防災の活動(避難訓練、防災セミナーなど)・鶴甲祭り  
ふれあい夏まつり
- グループ3：ラジオ体操・パークフェスティバル・盆踊り・防犯パトロール・地域の人々とふれあえる活動・地域の清掃

今後は、若い世代の参加の有無が鍵を握っていることが明確に示された。

## 意見交換3 5年程度の 将来のまち の方向?

- グループ1：子供と高齢者がふれあう場をつくる・景観を少しにぎやかに
- グループ2：鶴甲会館を拠点に地域が繋がる+利便性の向上
- グループ3：鶴甲銀座の周辺活性化・コミュニティセンター化・空家をなくすこと・若い世代が住みたくなる

人々がふれあえる場の存在は重要との意見が体勢を占めた。

## 意見交換3 10年先の 将来のまち の方向?

- グループ1：豊かな自然を維持・若い人もお年寄りも住みよい街に  
福祉施設と地域でもっと交流を・建替え問題
- グループ2：子供から高齢者までが住みやすい街をめざす
- グループ3：鶴甲団地の新しい姿をめざす・老若が共生できる街

様々な世代が住むことの出来る街でその為の環境づくりが重要との意見で一致した。



グループ3の皆さん